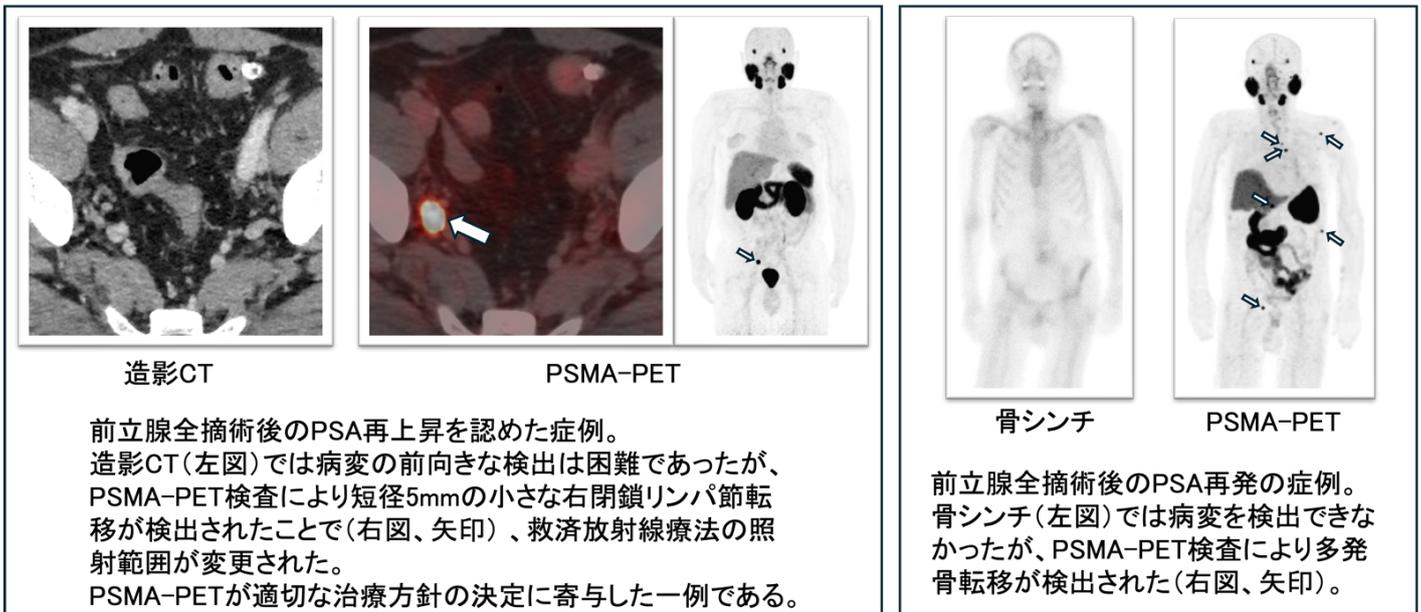


京都大学医学部附属病院では ^{68}Ga -PSMA-11 PET 検査を提供しています。

当施設では前立腺がんの診断や再発の早期発見において画期的な検査である PSMA-PET 検査を提供しています。この検査は、前立腺がん細胞表面に特異的に存在する PSMA(前立腺特異膜抗原)を標的とする ^{68}Ga -PSMA-11 という薬剤を使用し、これまでの画像検査(CT、MRI、骨シンチ)では検出が困難だった微小な病変や転移を高精度に描出します。 ^{68}Ga -PSMA-11 は、PSMA に結合する PSMA-11 に 68 ガリウム (^{68}Ga) という放射線同位元素を標識した PET 用の検査薬になります。近年、欧米をはじめ、オセアニア諸国では前立腺がんの転移巣検索には PSMA-PET 検査が盛んに用いられるようになってきている状況です。PSMA-PET 検査の最大の特徴は、その高感度と高精度で、従来の検査では見逃されていた転移病変を発見できる可能性があります。以下に PSMA-PET が有用であった当院の症例を提示します。



この先進的な検査技術により、より早期かつ正確な診断が可能となり、個々の患者さんに最適な治療方針を提供できることが期待されます。当施設では、経験豊富な医師と PET/MRI をはじめとする最新設備が揃った環境で、安心して検査を受けていただける体制を整えています。

本検査に用いる ^{68}Ga -PSMA-11 は、2025 年 11 月 12 日付で国内において診断用放射性医薬品として薬価収載されました。一方、 ^{68}Ga -PSMA-11 PET 検査の保険診療における適用は、 ^{177}Lu -PSMA 治療前の適用判定を目的として実施される PSMA-PET 検査に限られており、**すべての症例が保険適用となるわけではありません**。当院では、保険適用外となる症例のうち、転移リスクが高い症例や新たな転移・再発病変の検索が必要な症例を中心に、 ^{68}Ga -PSMA-11 PET 検査を自費診療にて提供しています。なお、 ^{177}Lu -PSMA 治療を受けるための事前検査としての PSMA-PET 検査は、**適応外**とさせていただきます。これは、 ^{177}Lu -PSMA 治療の適用判定に、自費診療で受けた PSMA-PET 検査の結果を用いることができないためです。

●⁶⁸Ga-PSMA-11 PET 検査を受けるにあたり

① まずは主治医の先生から、当院の地域連携室を通じて、下記担当医の外来診察にご紹介いただくことになります。

・泌尿器科 後藤崇之

・放射線治療科 相澤理人

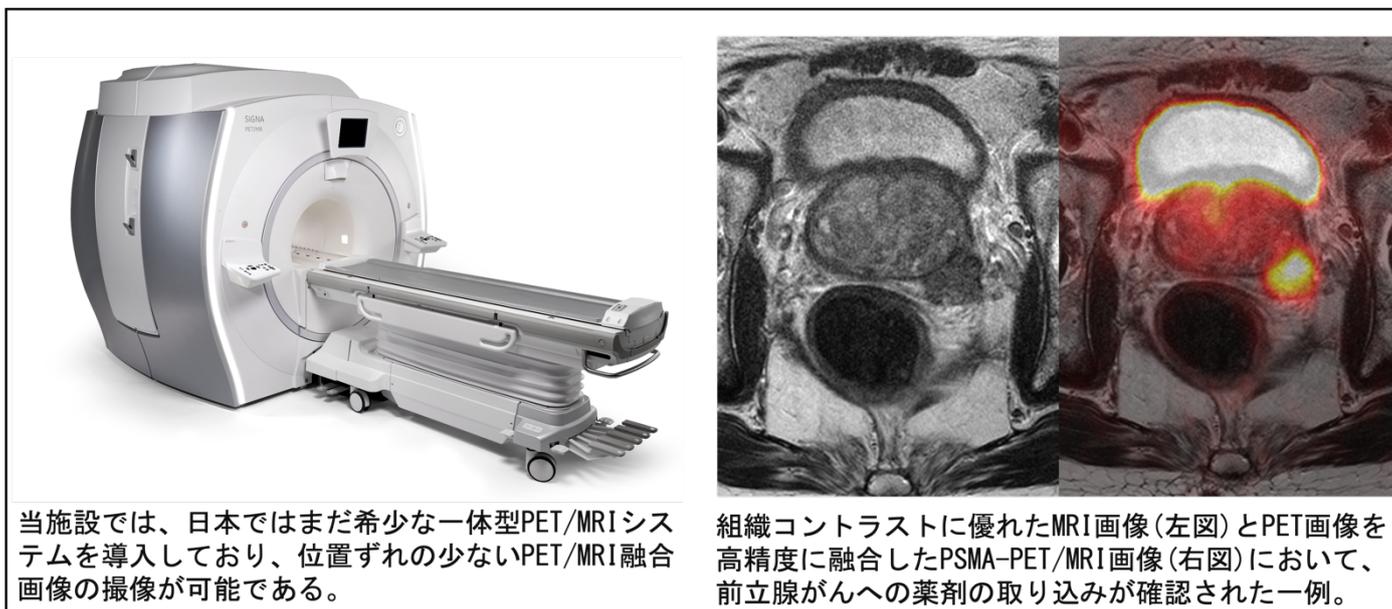
お手数ではございますが、ご紹介いただく際に、病歴・診断画像データ・病理標本を郵送・持参いただくようお願い申し上げます。そのうえで経過や病状などを踏まえて検査の適応を判断します。

地域連携室： 電話 075-751-4320 (9:00-19:30)

FAX 075-751-3115 (24 時間受信)

土・日・祝祭日、年末年始(12/29~1/3)、創立記念日(6/18)を除く

② 検査適応ありと考えられた場合はスケジュールを調整します。検査料は自費となり、259,050円(PET/CT のみ)、312,180円(PET/MRI のみ)、あるいは351,120円(PET/CT とPET/MRI 両方)です(2024年6月1日以降)。本検査の当日には他の保険診療を受けていただけないことにご留意ください。



当施設では、日本ではまだ希少な一体型PET/MRIシステムを導入しており、位置ずれの少ないPET/MRI融合画像の撮像が可能である。

組織コントラストに優れたMRI画像(左図)とPET画像を高精度に融合したPSMA-PET/MRI画像(右図)において、前立腺がんへの薬剤の取り込みが確認された一例。

なお、当院での治療内容に関するご質問や加療をご希望の場合は、お手数ですが、前立腺がんユニットでのセカンドオピニオン外来を受診いただくか、改めてご紹介いただきますようお願い申し上げます。

文責：放射線診断科 中本隆介 (Ver. 1.3)